

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有成分	文献	症例	適正使用 経路	感染症(PT)	出典	概要
649	2007/10/24	70649	CSLベレーリ ング	フィブリノゲン加第XIII因子 人血液凝固第XIII因子	人血液凝固 第XIII因子	ヒト血液	米国、ドイツ、 オーストリア	有効成分	有	有	有	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	ドイツにおけるヒトバベシア症の初めての症例を報告する。患者は経節性リンパ球性ホジキンリンパ腫が再発し、脾臓摘出されたドイツ人の63歳男性で、リンキニマブ投与後、貧血とヘモグロビン尿による暗色尿のため入院した。末梢血塗抹標本で裂状の寄生虫赤血球封入体が確認され、バベシア症と推定され、Babesia特異的18S rDNA PCRによって確認された。シーケンセス分析によりEU1と99.7%の相同性があり、EU3と名づけられた。寄生虫が消えるまでにはatovaquoneによる長期治療を要した。
650	2007/10/24	70650	CSLベレーリ ング	フィブリノゲン加第XIII因子	フィブリノゲン	ヒト血液	米国、ドイツ、 オーストリア	有効成分	有	無	有	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	70649に同じ
651	2007/10/24	70651	CSLベレーリ ング	抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒 素	ヒト血液	米国、ドイツ、 オーストリア	有効成分	有	無	有	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	70649に同じ
652	2007/10/24	70652	CSLベレーリ ング	フィブリノゲン加第XIII因子	トロネン素	ヒト血液	米国、ドイツ、 オーストリア	有効成分	有	無	有	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	70649に同じ
653	2007/10/24	70653	CSLベレーリ ング	フィブリノゲン加第XIII因子	アンチトロネン 素	ヒト血液	米国、ドイツ、 オーストリア	製造工程	有	無	有	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	70649に同じ
654	2007/10/24	70654	CSLベレーリ ング	人免疫グロブリン	人免疫グロ ブリン	ヒト血液	米国、ドイツ、 オーストリア	有効成分	有	有	無	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	70649に同じ